

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	福祉施設小委員会	主 査 名：森 一彦 就任年月：2008 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会(施設計画運営委員会)	委員長名：布野修司 主 査 名：大原一興
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>超少子高齢社会における子供や障害者、高齢者の福祉向上の要となる福祉施設のあり方に関する文献研究、事例研究および実践的環境づくり研究を行う。具体的には以下の通り。</p> <p>①福祉施設の現状課題整理（現行の制度と施設の活動実態のずれなど）、先進事例研究および関連文献研究などにより、新しい展開（地域密着、小規模化、多機能化など）を検討すると共に、</p> <p>②施設環境づくりに関する実践的研究とその普及に努め、</p> <p>③上記の研究活動成果の図書出版やウェブサイトを開設する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有 (2008 年度に 3 名公募)</p> <p>森一彦 (大阪市立大学)、鈴木義弘 (大分大学)、橘弘志 (実践女子大学)、三浦研 (大阪市立大学)、足立啓 (和歌山大学)、赤木徹也 (工学院大学)、古賀誉章 (東京大学)、絹川真理 (岡山大学)、浜崎裕子 (長崎国際大学)、隼田尚彦 (北海道情報大学)、山田あすか (立命館大学)、巖爽 (宮城学院女子大学)、田中正敏 (福島学院大学)、山脇博紀 (筑波技術大学)、松田雄二 (東京理科大学)、以上 15 名</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>1) 福祉施設のあり方研究 WG (メンバー数：12 名、開催：4 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の先進的事例の見学と研究会開催 ・福祉施設に関する内外文献の収集と研究成果の整理 <p>2) 施設環境づくり実践研究 WG (メンバー数：12 名、開催：4 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設環境づくり支援ネットワーク構築に関する検討会 ・日本認知症ケア学会の地域部会と協賛による施設環境づくり研修会の開催 	
2009 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 認知症ケア環境事典 (2009 年 4 月刊行)
講習会	<p>1. マザアス東久留米における暮らしを大切に施設環境づくり実践の研修 (2009 年 6 月 6 日) 参加者数 20 名</p> <p>2. 施設環境づくり実践リーダー養成研修 (2009 年 6 月 7 日) 参加者数 20 名</p>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. 公開研究会「共に暮らす、児童養護施設」2009 年 10 月 17 日 (空間研究小委員会共催) 参加者数 40 名</p> <p>2. 公開研究会「障害者福祉住環境の”これから”を考える」2010 年 2 月 20 日 (土) 参加者数 40 名</p>
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケア環境事典の出版: 前身の認知症ケア環境小委員会から継続していた認知症ケア環境事典を当初予定(200810 予定)より約半年遅れで、本年度に刊行することができた。今後、この書籍をテキストにして、認知症ケアに関わる専門家研修を実施し、認知症ケア研究成果の普及に努める。 2. 施設環境づくりに関する実践的研究とその普及: 施設環境づくりに関心がある専門家や施設を結ぶネットワークづくりに向けた準備をし、本年度に発足した。2010年度に本格的に活動する予定である。 3. 福祉施設の現状課題整理: 本年度は福祉施設小委員会とし、活動WG(児童福祉施設関連と障害者福祉施設関連)で見学会、ワーキングを進め、現状と課題の整理作業を行った。来年度は、その成果を出版する準備に入る。 4. ウェブサイトを開設: 認知症ケア環境に関わる研究成果の整理がほぼ終了したが、これをウェブサイトにアップする作業は次年度となった。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉施設小委員会として2年間の活動で、活動の方向性検討と体制準備がほぼ終了した。次年度以降の課題として、WG活動「福祉施設の現状課題整理」、「児童福祉施設(こども園)」「環境づくり」の成果をまとめて、研究会、出版の準備を行う。 2. 特に、委員が全国を網羅している特徴を生かして、各地域に密着した福祉施設の事例収集とその研究展開を進める。 3. 出版、委員会活動の内容を公開するHPを開設する。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。